

地域包括支援センターについて

地域包括支援センターは、住み慣れた地域で、その人らしい生活を送ることができるよう、さまざまな方面から高齢者の皆さんを支える機関です。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーを配置し、互いに連携を取りながら「チーム」で皆さんを支えます。



高齢者のみなさんの生活を支援します

介護や健康のことだけでなく生活全般についての相談や悩みにお応えします。

高齢者のみなさんが自立して生活できるように、介護予防のお手伝いをします。

成年後見制度の紹介や虐待の早期発見など、高齢者の権利を守ります。

地域の中で困りのことはないですか？

- 介護保険サービスを利用したいが誰に相談していいかわからない。
- 最近、自分や家族の物忘れがひどくなってきた。
- 地域での見守りが必要な高齢者がいる。

例えば…最近家に閉じこもって姿を見ない／地域の中で孤立している／認知症による徘徊がある／消費者被害にあっているかもしれない／虐待を受けているかもしれない など

高齢者が安心して地域で暮らし続けるためには、地域で共に支え合いながら、心配な高齢者を見守っていく取り組みが必要です。

家庭や地域で何か気がかりなことを感じたら、まずは地域包括支援センターにご相談ください。

問い合わせ先

伯耆地域包括支援センター（健康対策課 生活相談室内）
TEL:0859-68-4632



生活支援コーディネーター
本田の支え合い活動レポート
vol.10

合言葉は
“おたがいさま”

—支え合いモデル地区で研修会が開かれました—

1月20日（日）、地域での支え合いに積極的に取り組んでおられる駅前区とこしが丘区で、ご近所福祉クリエーター酒井保氏を講師に迎え、「活き・生き・元気なまちづくり～住み慣れた地域で笑顔で暮らすための3つのポイント～」をテーマに研修会が開催されました。講師からは、誰しも歳を重ね支援や介護をされる立場に必ずなるという事、自分がしている支援は自分がされたい支援なのかと自分の身に置き換えて考える事、自分の暮らしぶりや身近な人の暮らしぶりを知り守っていくことが大切だと話がありました。

今回は地区を限定しての研修会でしたが、3月に町民の皆さま向けの講演会として「地域助け合い・支え合い講演会」を開催します。災害支援を通じた具体的な事例を取り上げながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのヒントとなるお話が聞けると思います。申し込み不要でどなたでも参加できますので、ご家族・ご近所で誘い合ってのご参加をお待ちしています。（詳しくは別紙チラシをご覧ください。）合言葉は“おたがいさま”ですね。

本田 典子

地域助け合い・支え合い講演会（入場無料・健康ポイント対象事業）

と き：3月1日（金）開演 13:30～（開場・受付 13:00～）

ところ：伯耆町立岸本公民館 2階 大会議室

演 題：西日本豪雨災害から、支え合いの地域づくりを考える

講 師：LOCALISM LAB.(ローカリズム・ラボ)代表 井岡 仁志 氏

問い合わせ先

健康対策課 生活相談室 TEL:0859-68-5535